

住まいるニュース

Vol.81

家づくり補助金を上手に活用出来る住宅会社に相談してみよう！



高性能住宅（ZEH）を建築することにより、国から色々な補助金を受けられるのをご存知ですか？

政府は ZEH 住宅の普及活動を行っており、その一環として「ZEH 補助金制度」があります。

ZEH 補助金制度を受けるにあたっては条件や基準をクリアする必要があります。

その条件とは、ZEH 住宅は「断熱性能・省エネ・創エネ」の3つを満たしていなければいけません。

他に大切な条件として「SII（一般社団法人環境共創イニシアチブ）に登録されている ZEH ビルダーもしくはプランナーが設計や建築、改修や販売を行う ZEH であること」を満たしていれば、ZEH に認定された会社で建築しないと補助金申請が出来ないことになります。

ZEH ビルダーとは・・・



政府は「エネルギー基本計画」において、2030年までに新築住宅の平均で ZEH 実現を目指しています。以下の6つの基準に基づき、最高等級6つ星で評価されます。

6つ星 ZEH ビルダー評価基準

- ①. 前年度の ZEH ビルダー実績報告を行っていること。
- ②. 前年度の ZEH 普及実績及び各年度の ZEH 普及目標・実績を自社ホームページににおいて表示していること。
- ③. 前年度において、ZEH ビルダーとして ZEH の建築実績を有していること。
- ④. 前年度に受注した住宅の25%以上が ZEH となっていること。
- ⑤. 前年度に受注した住宅の50%以上が ZEH となっていること。
- ⑥. 前年度に受注した住宅の75%以上が ZEH となっていること。

本年度より、5つ星（★★★★★）の基準は満たした上で前年度に受注した住宅の75%以上が ZEH となっていることという項目が追加され、この項目を満たすと6つ星（★★★★★★）を獲得することができます。

ZEH ビルダーの探し方・・・

ZEH は SII（一般社団法人環境共創イニシアチブ）のホームページより探すことができます。

「ZEH ビルダー」と検索すれば、ZEH ビルダー/プランナー（フェーズ2）一覧検索とできます。

試しにヨネダも調べてみてください。

他にも、ZEH の更に上をいく LCCM 住宅（ライフサイクルカーボンマイナス住宅）の普及にも取り組んでいます。こちらも補助金対象の住宅となっています。

LCCM 住宅とは、長寿命で且つ一層の CO2 削減を目標とし、住宅の建設時、運用（居住）時、廃棄（解体）までの一生涯、住宅のライフサイクルトータルで CO2 の収支をマイナスにする住宅のことです。

ヨネダの LCCM 住宅は、「サステナブル建築物等先導事業（省 CO2 先導型）」として採択されました。

ヨネダは ZEH・LCCM 住宅推進に取組み、ZEH ビルダー6つ星（★★★★★★）として、今後も自然の恩恵と小さなエネルギーで「健康・快適・省エネ・安心・安全」な住まいをご提供していきます。

政府が推進する低炭素に向けた住宅イメージ



建設中現場のご紹介



H様邸(丹波市)



U様邸(丹波篠山市)



S様邸(福知山市)



E様邸(福知山市)



K様邸(福知山市)



U様邸(丹波篠山市)



T様邸(丹波市)



Y様邸(福知山市)



T様邸(福知山市)



K様邸(丹波篠山市)

センスの良い部屋を完成させるには、カラーコーディネート知識が不可欠。色の基本やルールを知って、床・壁などの内装材や家具、カーテン、インテリア雑貨選びなどに役立てましょう



今回の担当は、

営業
太槻 芳郎
です。

Step 1 色の土組みを知っておこう

色彩学では、色は色みの無い白、グレー、黒などの「無彩色」と色みのある「有彩色」に大別されます。さらに有彩色は赤、青、黄など色の違いを表す色相環です。同じ色でも、明るさ・暗さを表す「明度」と鮮やかさの度合いを示す「彩度」を合わせたトーンによって与える印象は異なります。色選びに加えて、どんなトーンにするかも意識しましょう。



赤い色がアクセントになっています。ベースは白で色味の差がハッキリしているので、スタイリッシュで都会的なイメージを生みだしています。

グレーをベースとして黄色をアクセントに加えています。同じ「無彩色+有彩色」の組み合わせですが、例1と比べて温かみのあるイメージです。アクセント色によって印象が変わりますね。



Step 2 部屋の広い部分から色を決めていこう

色選びでは、壁・天井・床など部屋の大部分を占める場所から決めることです。この色がインテリアのベースカラーとなります。変更しづらい部分なので、飽きないベーシックな色を選ぶと◎。ベースカラーが決まったらカーテンや家具に使うサブカラーを、次に雑貨などのアクセントカラーを決めましょう。上手なコーディネート秘訣は、ベースカラー7割、サブカラー2割、アクセントカラー1割が目安です。

Step 3 色の組み合わせのパターンを知っておこう

部屋の中をスッキリとした印象に見せるには、色の使い方にも法則をもたせることが必要です。主な組み合わせ方には、同系配色、反対配色、類似配色の基本パターンがあります。この配色パターンの特徴を知っておき、自分なりのカラーコーディネートを楽しみましょう。



同系配色



反対配色



類似配色

■未来を担うゼロエネルギー住宅

ウイズ
— With —

省エネの工夫で消費エネルギーを減らし、使うエネルギーは自ら創り出す。究極のエコロジー住宅です。



LINEからチャット感覚でお問合せ・カタログ請求

